

つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



伊勢原の大納涼まつりでかき氷を作りました!!

今年一年を振り返るには、ちと早い気もしますが、あっという間に冬から春を駆け抜けて、気づけば暑さも和らいで、また涼しい季節がやってきます。そろそろ感じられるキンモクセイの香りを楽しみに、出かけられる時はポストティングに行きたいなあ、なんて考えている、今年はずポーツの秋全開で行きたい、感動・創庫の芦川です。

時間ってとつても大切です!!

感動・創庫はスタッフが增え、仕事の幅が広がりましたが、いせはらポストの主要メンバーが産休に入り、私個人は少しだけハードワーク気味です。時間って、ほんと無情なからこそ、やりがいを持って生きていかなきゃ！振り返る

ことはそこそこに、先々への期待と少々の焦りも一緒に飲み込みつつ、ただ前進であ！と決意も新たにです。

チャレンジの日々が楽しいです!!

その代わり、現場でお客様とお話する機会が増えて、ポストティングで行う世界構想のさまざまな種を捨てることができている。先日、ご新規のお客様から、ポストティングに際してのリスクについて鋭くご質問をいただきました。ホームページなどで私たちの取り組みや気をつけていることについて、情報をお伝えしてきましたが、仮に問題がおこった時どうする？という点は社内での申し合わせだけで止まっていた。ポストティングへの評価は世間を見渡せば上から下まで本当に様々ですから、もう一度気持ちを引き締めなくては感じました。会社にとっては巻き直しの



タイミングが来て、現場スタッフとの会話をする機会も増えました。チャレンジが続きませんが、スタッフが楽しみな取り組んでいる姿を見ていると、心から嬉しくなります。会社全体の成長にもさらなるアイデア発見にもつながりそう、これは必要な試練なのかなあと感じます。さらなる追求の日々は、結局やってくる自分たちが一番楽しいんですね。試練サイコー！問題ありがとう！です。

今年も、あと4ヶ月

青年会議所活動も卒業まで4ヶ月を切りました。青年から壮年!?になる芦川は、やりたい事がいくつも生まれて困っています。課題IIチャンネルだけでワクワクします。伊勢原を良くする構想と、世界を良くする構想もやっぴりつながっています。早くも2017年の感動・創庫の成長を見るのが楽しみです。



韓国で、食い倒れの旅

感動・創庫
料金後納
郵便

ゆうメール

株式会社 感動・創庫
kando-soko

〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103
TEL: 0463-79-9777
http://kando-soko.com
発行編集責任者: 芦川永光

心に響く感動の格言

パワーは要らないと思います。それより大事ななのは自分の「形」を持っているかどうかです

Words by イチロー(マイアミ・マーリンズ)

オリンピック前は大きなニュースでした。大リーグで活躍中のイチロー選手が、メジャー通算3000本安打を記録しました。スポーツの世界には天才と呼ばれる人が多くいますが、イチロー選手は自分でも評している通り、才能があるのではなく、努力の天才だということです。習慣形成から、トレーニングの仕方、毎打席入る前に同じ動作を繰り返すという、「形」を反復する日々の積み重ねなんです。ビジネスの「形」づくりも、努力と継続。重要な根っこ部分は、イチロー選手を見ているかぎり、積み上がることを楽しむことにあると思います。



芦川画伯

今日のお題は…

イチローがヒットを打った所



リオデジャネイロオリンピックが閉幕しました、その翌日のタイミングでたまたまキーボードを叩いています。今回のオリンピックで印象に残っているのが、というよりもリアルタイムで観ていた競技が一つだけ、女子バドミントンの決勝戦でした。深夜2時くらいだったでしょう。妻が寝静まっている隣の部屋で、タカマツペアの最後の追い込みを見ながら、「うおーっしー」と小さく響かない声で叫んでいます。すごい試合でした。いいもの

見させていただきました。それにしても、オグシオから始まった苗字の頭文字を並べるペアの愛称が、スエマエときて今度はタカマツ。このバドミントンダブルスペアの命名は確かに覚えやすいですが、いつまで続くのでしょうか。いずれ長井さんと三ツ矢さんのナガミツペアが出てくることをほんのり期待しています(笑)。

次はトーキョー2020ってわけですが、ロゴデザイン問題や予算の状況など、ネガティブな部分が目立ちました。立っていましたが、どうなることでしょうか。あとは2020年までがイメージできて、その先が見えづら

いことは誰もが否めないですよ。オリンピックを起爆剤とするか、打ち上げ花火のため息をついて終わらせてしまおうか。ここからの4年間は私たち一人一人に、国家観が求められますね。リオのその後も気になるところです。



編集後記

リオデジャネイロオリンピック!!



涼子の気になっちゃう 広告!

面白い広告



乾きまペン

1日中ペンのキャップを開けたままでも乾かない油性ペン『乾きまペン』の広告です。

アイデアは出まペンが、乾きまペン。誰も来まペンが、乾きまペン。

状況が浮かんで来て、ウンウン!と頷いちゃう紙面です。

これだと、ペンのキャップを開けたままにしちゃうよな〜と、状況が目には浮かびますね。

どんな広告でも、相手に便利な状況、使いやすい状況など、自分の会社や、お店、商品の良さをイメージさせることって大切ですよ。

この『乾きまペン』も「ずっとキャップを開けたままでも乾かないんですよ!!」と言うよりも、この紙面のように状況をイメージできる方が、人の心に響きます。

